

平成 29年 08月 31日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

快適・健康な上州の家

グループの名称

快適・健康な上州の家 研究会

直近採択グループ番号

04-0294-0195

(グループ代表者)

代表者名

西田 和生

代表者印

代表者所属先

株式会社西幸

代表者所在地

群馬県太田市清原町6-2

代表者電話番号

0276-37-8351

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社西幸

事務局担当者名

増田 和徳

印

事務局郵便番号

373-0012

事務局所在地

群馬県太田市清原町6-2

事務局電話番号

0276-37-8351

事務局FAX

0276-37-8350

事務局担当者E-mail

k-masuda@nishiko.ne.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	快適・健康な上州の家
2. グループの名称(必須)	快適・健康な上州の家 研究会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0294-0195
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	群馬県及びその近県
5. 結成年(必須)	2016 年
6. グループ代表者名(必須)	西田 和生
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社西幸
8. グループ代表者所在地(必須)	群馬県太田市清原町6-2
9. グループ代表者電話番号(必須)	0276-37-8351
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社西幸
11. グループ事務局担当者名(必須)	増田 和徳
12. グループ事務局郵便番号(必須)	373-0012
13. グループ事務局所在地(必須)	群馬県太田市清原町6-2
14. グループ事務局電話番号(必須)	0276-37-8351
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0276-37-8350
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	k-masuda@nishiko.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	海外の合法木材、国外産のSPF材等は、海外事業者の為、原木供給者の構成員登録が出来ない
II. 製材・集成材製造・合板製造	5	海外の合法木材、国外産のSPF材等は、海外事業者の為、製材事業者等の構成員登録が出来ない
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	13	
IV. プレカット	6	構成員の一部に手刻みでの加工先がある為、プレカット事業者を含まない場合がある
V. 設計	17	施工事業者の中には自ら設計を行う先があるので、その場合は設計事業者は構成員に含まない場合がある
VI. 施工	45	
VII. 木材を扱わない流通	2	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	ぐんま優良木材	群馬県	ぐんま優良木材品質認証	1	国内
	栃木県産木材	栃木県	栃木県産木材証明制度	1	国内
	さいたま県産木材	埼玉県	さいたま県産木材認証制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		12	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	12	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		20	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	20	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)		8	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	8	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		9	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	9	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		6	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	6	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)		8	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	8	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		8	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	8	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)		8	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)	8	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		11	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	11	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	1)受注確実な工務店様、2)未経験工務店様の順に、優先して配分する。グループへの配分に対して希望戸数が上回った場合は、抽選等、公平性が確保される手段をもって配分する。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	8戸	交付申請戸数	8戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	4戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適・健康な上州の家	(地域型住宅供給対象地域) 群馬県及びその近県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 快適・健康な上州の家 研究会	(結成年) 2016 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0294-0195	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	夏は日本でも有数の暑さの地域であり、冬には「からっ風」が吹きすさぶ地域である。当グループが重視する性能はH28年省エネ基準以上の断熱性能を確保することである。その上で、エンドユーザー様にとっても感心の高い、長期優良住宅等に代表される「高耐久性能」を正しく理解いただけるような手法を、グループとしても検討課題としていく。また、近年関心が高まっている地震にそなえ、耐震等級3を目指していく。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	夏季は暑さ対策、日射遮蔽、通風計画を考慮し 冬季には日射取得、また断熱性能の高い窓開口を考慮した設計を行う。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏季には体に優しい通風計画を考慮し、また冬季には日射取得を考慮したデザインとする。	◎
④①～③の背景	夏季には、北側からのフェーン現象による熱い空気と、南側から内陸を渡ってきた熱い空気が合流することで気温が上昇し、記録的な猛暑となる地域がある。また冬季には、別名「赤木おろし」とも呼ばれる、赤城山から吹き下ろしてくる強いからっ風が、主に平野部を吹き荒れ、体感的にも非常に寒い地域である。このような寒暖差の激しい地域においては、住まい手にとってより快適で、かつ、健康的な性能が、住宅には求められている。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当グループは代表・事務局ともに施工店ではないが、地域の優良ビルダー様に対して良質な建材等を供給させていただく流通業者として様々な情報等を発信し、地域に根差したビルダー様と協働して、快適で健康な住宅を、安心してお施主様にお届けできる仕組みを作ること为目标の一つとする。またNEB(ノンエナジーベネフィット)の観点から、エンドユーザー様に訴求できるような手法を、主に補助金経験ビルダー様と協働しながら検討を行い、実践できるようにしていきたい。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	継続して、今後規格化が可能かどうか検討していく。	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 委員会の会議、勉強会等を実施する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 随時、新商品や情報等を各構成員に発信し、共有する役割をはたす。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 特に完成後は確認が取りにくい断熱材の施工や気密の確保など、グループとして施工基準の整備を目指す。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工店は責任を持って検査を自主的に行い、新たに信頼性の向上につながる項目等があれば事務局に報告する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: お施主様に伝わりやすい工夫や表現を使った見積書を作成する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: PR活動の実施。可能な限り現場見学会や完成見学会等を実施する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	住宅性能表示制度、BELS認証、フラット35S他、本事業に関連する提案等をエンドユーザー様にアピールし、良質な住宅を提供できる体制づくりを通じて、全体的な信頼性向上を目指す。また2020年の省エネ基準義務化に向けての取り組みをグループとしても行い、意識向上＝信頼性向上の形を作り上げられるよう努力する。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適・健康な上州の家	(地域型住宅供給対象地域) 群馬県及びその近県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 快適・健康な上州の家 研究会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0294-0195	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関のルールにのっとり実施するよう努める。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関の住宅履歴情報サービスを利用し、蓄積するよう努める。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴に関する蓄積状況は、随時、事務局へ報告する。	○
	② メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工店は自主的に点検を実施し、点検結果の蓄積を行い、先々に想定されるリフォーム等へも繋げられるよう努める。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 補修結果は蓄積を行い、今後再発させないような手段の判断材料としていく。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検補修の実施状況は、随時、事務局へ報告する。	○
	③ 住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引き渡し時に日頃の住まいのお手入れ、管理の仕方、住まい方をお施主様に説明する。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域イベント等に参加する等、積極的に実施するよう努める。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループとして年2回実施している地域ショールーム等を活用したイベント等へのご案内をすすめるなど、積極的な展開を目指す。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理委員会を設置し、情報の共有、研修会等を実施する。	○
	⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅のお引き渡し時に施工業者が倒産廃業した場合、別の施工業者を紹介し、対応する。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店に対して、技術力や知識の向上を図る為の勉強会等を実施する。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 必要に応じて、勉強会等を実施する。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会等の実施状況の実績を集計・管理する。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 今後3年以内をめどに、未経験工務店をなくしていく。	◎
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅やゼロエネ住宅等の着工実績の拡大を進め、未経験先へも取組みについて誘導するなど、普及する環境を作ることによって、実現場での技術力向上も併せて行う。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅やゼロエネ住宅等に関する講習会等、及びH28年省エネ基準等の勉強会等へは積極的に参加し、知識・技術を向上させていく。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 36 今年度の参加目標人数 29	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 20	◎
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局は、講習会の予定等の情報発信を行う。	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅やゼロエネ住宅等の勉強会等を実施し、新たな技術等の情報の共有を進める。	◎
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適・健康な上州の家	(地域型住宅供給対象地域) 群馬県及びその近県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 快適・健康な上州の家 研究会	(結成年) 2016 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0294-0195													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	<p>① 地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <p>・地域材は主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半に使用する。 ・主要構造材以外においても地域材を積極的に使用する。</p>	◎												
②	<p>地域材利用の1棟当たりの割合(必須)</p> <p><input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上</p>	◎												
③	<p>標準的な地域材の使用部位(必須)</p> <table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>		主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④	<p>地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <p>このフローは、代表的な国産材の流通フローとなっております。</p>													
b	<p>①-1 地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局に情報が入った場合には、事務局がその情報を発信し共有化を図る。</p> <p>①-2 地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局に情報が入った場合には、事務局がその情報を発信し共有化を図る。</p> <p>② グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今後の着工実績をふまえ、需給予測を行える仕組みづくりが可能か検討を行う。</p>	◎												
c	<p>①-1 畳の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-2 和瓦の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-3 襖の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>①-4 障子の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p> <p>②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:</p>													
d	<p>① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 高機能な性能は維持しつつ、そこに地域性を取り入れられるよう考慮していく。</p> <p>② 地域の住まい方の継承につながる取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 高機能な性能は維持しつつ、そこに地域性を取り入れられるよう考慮していく。</p> <p>③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 高機能な性能は維持しつつ、周辺の環境も考慮していく。</p> <p>④ 和の住まいの要素を取入れた取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 高機能な性能は維持しつつ、住まい手のご要望に答えられるよう努力する。</p>	◎												
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。														
カ. その他														
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	特定被災区域がある栃木県と隣接している地域でもあり、今後群馬県外のビルダー様へも、積極的に本事業への参加を呼びかけていく。	○												
平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 快適・健康な上州の家	(地域型住宅供給対象地域) 群馬県及びその近県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 快適・健康な上州の家 研究会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0294-0195	

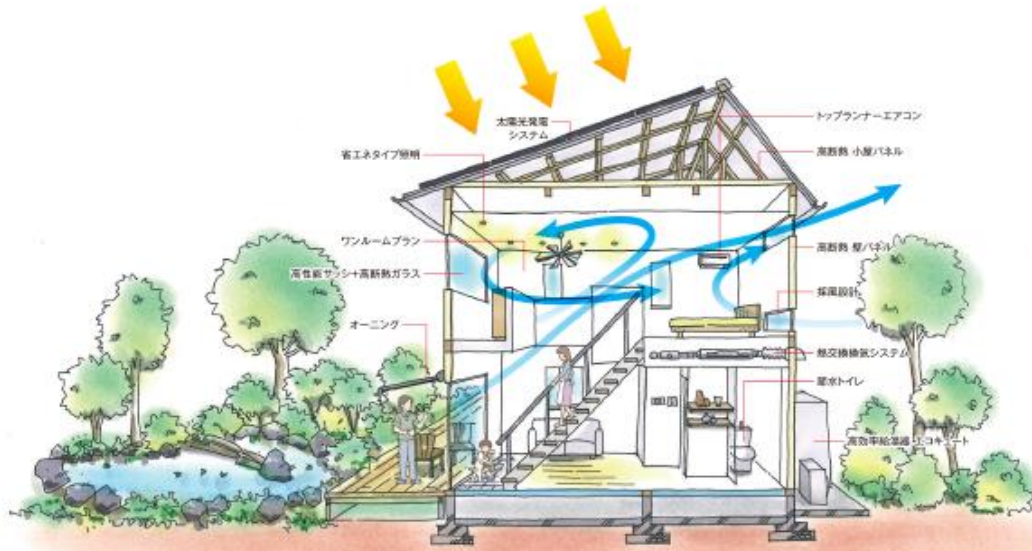
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

- 過度の省エネルギー設備に依存するのではなく、まずは住宅の断熱性能・気密性を高めた上で、庇やシェードなどで日射熱をコントロールしたり、通風計画を取り入れるなどの工夫を行い、省エネ設備をバランスよく組み合わせることで、快適で健康な住宅をめざしていく。
- 当グループに関わる地域(3~6地域)に対応するゼロ・エネルギー住宅に関して、構成員同士、及び本事業に賛同する関連事業者と協働して、お施主様の要望を第一優先として、情報を共有しながら、当グループの基準をクリア出来るよう検討し、実現していく。
- ゼロエネ住宅に関しては、BELS認証(ZEH又はゼロエネ相当)を取得することを前提とする。ゼロエネ住宅以外に関しても、積極的にBELS認証取得を行うよう推奨していく。
- EB(エナジーベネフィット)だけではなく、NEB(ノンエナジーベネフィット)の観点も考慮しながら高性能住宅が広く理解され、未経験先も安心して取り組めるような環境を、グループとして構築していけるかを検討課題とする。



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。